

団体名	特定非営利活動法人 リスクデザイン研究所
活動テーマ	水害フォーラムキャラバン2



異常気象による豪雨が常態化しつつあります。もはや異常気象ではなく、甚大な被害を伴う洪水や土砂災害は、常にどこにでも起こり得るものとして認識する必要があると言えます。

私たち特定非営利活動法人リスクデザイン研究所は、「水害フォーラムキャラバン」として、2015年度より、さまざまな場所・さまざまな時期に発生した水害の被災地を巡回し、その被害と課題、教訓の個別性と普遍性の理解に努めてきました。

これまでに取り上げてきたのは、長崎大水害（1982年）、豊岡の水害（台風23号、2004年）、紀伊半島大水害（2011年）、丹波豪雨（2014年）、広島土砂災害（2014年）です。「キャラバン」には、私たちNPOスタッフだけでなく、大学生や研究者、実務家など、幅広い属性を持った人たちが参加してくれました。また巡回先では、被災者や支援者の方々が熱心に対応くださり、教訓を何としても伝えたいという思いを強く感じました。出石町鳥居やすらぎ市民農園、成美大学（現・福知山公立大学）、豊岡劇場、丹波市役所、十津川村役場、那智勝浦町市野々地区、復興交流館モンドラゴン（広島）の方々に改めて、この場を借りてお礼を申し上げます。また「キャラバン」に加わってくださった東京大学、人と防災未来センター、神戸大学、関西学院大学、兵庫県立大学、広島大学、鳥取環境大学の大学生・院生のみなさんにも感謝申し上げます。

今後、こうしたつながりを恒常的なネットワークとして発展させ、各地の「学び」を市民・専門家・支援者に広く発信し、水害をめぐる多様なアクターが連携する仕組みづくりに寄与したいと思っています。